

浦沢直樹展

描いて描いて描きまくる！ - 埼玉の巻 -

とき・7/7(土)~9/2(日)

ところ・2階展示室

内容・現役最高峰の漫画家として活躍する浦沢直樹(1960-)。この展覧会では、合計1000点超の膨大な原稿をはじめ、ストーリーの構想メモ、ネーム、秘蔵のイラストやスケッチ、少年時代の漫画ノートにいたるまで、浦沢作品誕生の秘密に迫る資料の数々を公開します。

観覧料・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

阿部展也ーあくなき越境者

とき・9/15(土)~11/4(日)

ところ・2階展示室

内容・戦前から戦後にかけて活躍した美術家・阿部展也(1913-1971)。戦前は瀧口修造との詩画集『妖精の距離』で注目を集め、前衛写真の分野でも異才を発揮しました。戦後はシュルレアリスムからアンフォルメル、幾何学的抽象へと目まぐるしく画風を変転させながら、海外の新しい美術動向の紹介も手がけるなど、国際的な視野に立った先鋭的な活動を展開します。多才な阿部展也の全貌に迫る展覧会です。

観覧料・1000円(800円)、大高生800円(640円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○講演会「戦時下の道標ーフィリピン時代の阿部展也」

とき・9/16(日)15:00~16:30

ところ・2階講堂

講師・副田一穂(愛知県美術館学芸員)

内容・阿部展也が出先先のフィリピンで手がけた宗教宣撫雑誌『みちしるべ』のための表紙原画を手掛かりに、シュルレアリスムが危険視され弾圧された日本から遠く離れた南方における、阿部の活動の足跡を辿ります。

定員・100名(当日先着順) / 費用・無料

○スペシャル・ギャラリートーク

とき・9/29(土)15:00~16:00

ところ・2階展示室

講師・松沢寿重(新潟市美術館主幹/学芸員、本展覧会企画者)

費用・企画展観覧料が必要です



《Night》1947年
新潟市美術館蔵



《雑誌『みちしるべ』表紙原画》
1943年 愛知県美術館蔵

アート体感ワークショップ

MOMAS のとびら

とき・土曜日 13:30~15:00

対象・幼児から大人まで

費用・『工房』、『親子クルーズ(企画展物語)』は500円。その他無料。

申込方法・館内で配布する申込用紙によりFAXでお申し込みください。申込用紙はホームページからもダウンロードできます。

○9月分のお申込みを8/1(水)から受け付けます。

9/8(土) みる+つくる(MOMASコレクション)

[小・中学生]

9/15(土) わくわく鑑賞ツアー

[どなたでも] ※申込不要

9/22(土) 工房

[小学生~大人]

9/29(土) 彫刻あらいぐま

[小・中学生+保護者]

○10月分のお申込みを9/1(土)から受け付けます。

10/6(土) わくわく鑑賞ツアー

[どなたでも] ※申込不要

10/13(土) 親子クルーズ(MOMASコレクション)

[小・中学生+保護者]

10/20(土) アート★ビンゴ

[どなたでも] ※申込不要

10/27(土) 親子クルーズ(企画展物語)

[小・中学生+保護者]

MOMAS ステーション

とき・7/21(土)~8/26(日)

内容・1階ロビーに夏休み限定の子ども向け受付「MOMASステーション」を設けます。初めて美術館に来る子供たちや、美術館に関する宿題をもった子供たちに、美術館を楽しむためのワークシートや参考になる資料を提供したり、ボランティアスタッフが相談にのります。お気軽にご利用ください。

MOMAS コレクション(収蔵品展)

2018年度 第2期

とき・7/14(土)~10/14(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

※会期中の毎日14時から30分程度、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇セレクション:ピカソとかデルヴォーとか

キュビズムの画家パブロ・ピカソやシュルレアリスムの画家ポール・デルヴォーなど、西洋の名画に日本近代の作品を交えて紹介します。

◇大熊家コレクションの名品から

平成19年度、25年度に寄贈された日本画のコレクションから、選りすぐりの作品を紹介します。

◇埼玉の洋画

寺内萬治郎、高田誠、塗師祥一郎など、埼玉の洋画を代表する画家たちの作品をコレクションから紹介します。

◇吉田克朗:プランと実践

吉田克朗(1943-1999)の《650ワットと60ワット》が生み出された背景について、資料を交えて探ります。「もの派」の作例として語られてきた本作品を、新たな視点から再考する試みです。

《関連イベント》

○サンデー・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで展示室内で解説します。

費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・8/19(日)15:00~15:30

作品・大林千萬樹《編笠茶屋》制作年不詳

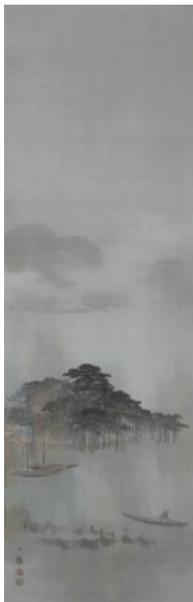
担当学芸員・五味 良子

とき・9/9(日)15:00~15:30

作品・野村文孝《近江八景 唐崎夜雨》

1907年頃

担当学芸員・菊地 真央



野村文孝《近江八景 唐崎夜雨》1907年頃

一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆7/31(火)~8/5(日)

第28回旺玄会埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、版画、アクリル).....一般展示室3・4

◆8/7(火)~8/12(日)

水彩連盟埼玉西支部展(水彩).....一般展示室1
親子三代展(写真、フラワーアート、折り紙).....一般展示室2
「オリーブ・トゥリー」「クレアール」合同展(水彩、油彩ほか).....一般展示室3

◆8/14(火)~8/19(日)

第52回埼玉平和美術展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか).....一般展示室1~4

◆8/21(火)~8/26(日)

第22回西遊会美術展(水彩、油彩、ドローイング、版画).....一般展示室2
第20回ポスケット個展保倉勝美の世界(ポスケット).....一般展示室4

◆8/22(水)~8/26(日)

第33回墨芳展(書).....一般展示室1・3

◆8/28(火)~9/2(日)

公募ZEN展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻、工芸ほか).....一般展示室1

◆8/28(火)~9/9(日)

第52回埼玉三軌展<絵画>(日本画、水彩、油彩).....一般展示室2・3
Tudor Zbarnea(ツドール・ズバネア)Toshio Yoshizumi(ヨシズミトシオ)展(油彩、ドローイング、アクリル、水墨画、銅版画、写真).....一般展示室4

◆9/4(火)~9/9(日)

第32回(公募)埼玉創元展(日本画、水彩、油彩、版画).....一般展示室1

第10回フォトサークル・オプト写真展(写真).....一般展示室2

ススキダトシオ(小林治)展(アニメーション作品の資料ほか).....一般展示室3

◆9/13(木)~9/16(日)

第62回埼玉書道展(書).....一般展示室1~4

◆9/18(火)~9/23(日)

第35回埼玉県写真サロン(写真).....一般展示室1
Art Photography ICHIE「光画展」(写真).....一般展示室2

第32回フォトグループWAVE写真展(写真).....一般展示室3
第9回「自写自賛」写真展(小中四平個展)(写真).....一般展示室4

◆9/25(火)~9/30(日)

第27回工芸新樹会公募展(工芸).....一般展示室2

第6回私の自然展(写真).....一般展示室3
境栄子個展(油彩).....一般展示室4

◆9/26(水)~9/30(日)

第28回全国平成水墨画展(水墨画).....一般展示室1

どうぞよろしく!

新しく採用された学芸員を紹介した前回の記事「どうぞよろしく!」から3年。学芸部に新しいメンバーが加わりました。近代日本画が専門で、常設展・収蔵品チームで活躍中の菊地真央(きくちまお)さんにインタビューしました。



神奈川県横浜市出身で、横浜と鎌倉市で育ちました。舞台や歌舞伎、バレエを見るのが好きで、中学校と高校では演劇部に入っていました。元々、美術館で絵を見ることは好きだったのですが、予備校でカラヴァッジョの作品などを勉強した時に、何てドラマチックな表現があるんだろう!と、美術史に興味を持ちました。

大学での研究テーマは「北野天神縁起絵巻」です。絵巻のダイナミックな表現や形式に惹かれたのですが、ここにも演劇的なものへの関心がつながっているように思います。大学院では、学部での研究を発展させて、文字と絵が共存する作品や、地獄絵のように他界を描いた表現の変遷について深めようと、追善供養のために制作された影絵の肖像画を研究しました。大学院在学中に神奈川県立近代美術館、鎌倉市鍋木清方記念美術館でインターンを経験したことで学芸員の仕事に興味を持ち、卒業後、愛知県の岡崎市美術館で2年間学芸員として勤務した後、埼玉に移りました。

趣味は旅行です。国内外問わずですが、3月にはポルトガルに行って南蛮屏風を見てきました!また、大学在学中から茶道を習っています。茶室の空間や、簡潔で無駄のない所作の美しさに惹かれます。

埼玉近美の展覧会は、「原田直次郎展」や「旅と芸術」などが印象に残っています。埼玉近美は、美術の範囲にとらわれずに広く社会の動きを捉えた「旅と芸術」のように、幅広く、多様な解釈ができるテーマの展覧会を手がけているイメージがありました。

以前の職場でもコレクションの仕事が中心だったことや、現在常設展・収蔵品担当に所属していることもあって、美術館のコレクションに関心があります。今後は、埼玉近美の収蔵品の魅力を生かせるような企画展示に取り組んでみたいです。

(聞き手:H.S.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

お出かけやお買い物に、気分を明るく楽しくしてくれるカラフルプリントのバッグをご紹介します。



Sサイズ ¥2,300(税別)、Lサイズ ¥3,200(税別)

「ひびのこづえ / 折りたたみバッグS」は、底マチ幅が20cmと広いので、大きなお弁当箱も平らに入れます。「折りたたみバッグL」は大きめサイズなので、スポーツや習い事、小旅行など荷物が多めの時にいかがでしょう。どちらも軽く、コンパクトに折りたたむため便利です。(E.N.)

編集後記

今年も暑いですね~(編集時現在まだ6月下旬です)。このソカロが発行される頃には更に暑くなっているのでしょうか。北浦和公園の噴水を見てると、自分も水浴びしたくなってきてしまいます。(S.Y.)

zocalozocalozoc